

平成22年度 財団法人八尾市文化振興事業団 事業計画

当事業団は設立以来一貫して、地域の文化活動、生涯学習活動の拠点施設として、文化会館および生涯学習センターの管理運営と事業展開に努めてまいりました。

平成22年度は、第2期となる指定管理期間5年のうちの2年目となり、公募の際に市ならびに市教育委員会に提出いたしました提案書の実現に向けて、また適切な指定管理者として、着実な運営をおこない成果を蓄積する年となります。

経営に関しましては、5年間の債務負担行為による、その年度毎に定められた市ならびに市教育委員会からの施設管理代行収益をはじめ、施設利用料収益、各種芸術文化事業や生涯学習振興のための事業収益を主な収益とし、両施設の施設管理、事業運営をおこなうこととなりますが、収支の均衡を第一に掲げ、施設利用料収益や事業収益の拡大、及びサービス向上に取り組むなど、与えられた使命を果たし、地域に貢献するよう、引き続き両施設の管理、運営に努めます。

また、地域のためにある両施設の運営には、公益性の高い組織による運営が望ましいことから、現在の特例民法法人から公益財団法人への速やかな移行を目指し、ワーキングチームの取り組みにより進めてまいります。

八尾市文化会館事業計画

平成22年度文化会館の事業計画についてご説明いたします。

まず、会館の管理・運営及び貸館事業については、事業団が開発いたしました文化会館総合会館運営システムを活用し、施設の使用許可を適切確実に代行いたします。また、本年1月より本格稼動した舞台見積りシステムをはじめ、利用者より好評をいただいておりますインターネットからのアクセスの利便性を高めていきます。なお、八尾市文化会館の認知度のさらなる向上に努め、利用者のニーズ把握のため、昨年度に引き続き、お客様アンケートを実施してまいります。

次に、芸術文化事業について、世間ではまだまだ不景気から発した不安定な社会・経済情勢ですが、このような社会的危機は、文化が持てる創造性や多様性により解決していくことができるという考え方が、都市政策や企業メセナ協議会の提言の中にあります。また、先頃文化庁の平成22年度予算が出され、文化立国に向けて、微増ではありますが前年度に対して増額されております。この中で、地域公立文化施設を創造型の劇場として促進させる事業が含まれ、文化庁の方針として打ち出されたところです。これらの状況を踏まえ、公の施設として、また公益法人としての視点に立って、地域文化の振興・創造には欠かすことのできない事業を実施してまいります。各事業は、大きく鑑賞型、市民参画型、教育普及型の3つのカテゴリーに分類し展開いたします。まず、鑑賞型事業につきましては、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象に創意工夫をこらした内容で、気軽に質の高い芸術に触れていただけることを目的とし、著名・一流のアーティスト達によるコンサートや、実力派俳優による演劇公演を実施し、鑑賞機会の提供に努めます。特に本年度は、本格的演劇公演2本を関連ワークショップと併せて開催します。また音楽事業につきましても、これまで以上に連携展開を深めて実施いたします。続いて市民参画型事業につきましては、フェスティバル事業等の企画や運営、またホール内におけますボランティア組織活動に、市民の積極的な育成、参画を促し、活力を得ることで、市域の芸術文化レベルの向上に寄与することを目的に開催いたします。教育普及型事業につきましては、市域における文化の浸透、次世代の文化の担い手等に芸術文化の素晴らしさを伝えることを目的とし、ホール内にとどまらず、

市内小中学校・病院などにおいても、様々な機関と連携し、文化に触れる機会や文化情報の提供に努めます。この教育普及型事業についても、新規企画3本を加えて行ないます。

その他、これまでどおり友の会運営、ホームページによる情報発信などについては継続実施するものとし、利用者目線に立ったサービスの提供に心がけます。

事業の詳細は以下のとおりを予定しています。

芸術文化事業について

1. 市共催事業

(1) 鑑賞型事業

八尾シティーコンサート

・三浦一馬 バンドネオンコンサート (5月)

・大阪フィルメンバーによる室内楽に夢中っ! Vol.3 (9月)

大阪フィルハーモニー交響楽団八尾演奏会 (12月)

親と子の管弦楽コンサート

京フィルといっしょ 「うたって!おどって!楽しいね!」 (10月)

公立施設地域間交流事業「精霊流し」 (8月)

文学座拠点契約事業「殿様と私」 (12月)

劇団かかし座による

(ワークショップ) 影絵で遊ぼう!! (8月)

(舞台公演)「三枚のおふだ」 (11月)

コラボ! 淀工&ミ・ベモル (2月)

公益財団法人 三井住友海上文化財団派遣コンサート

「原田 節 オンド・マルトノ コンサート」 (6月)

(2) 市民参画型事業

第23回八尾市吹奏楽フェスティバル (7月)

河内音頭やおフェスタ (8月)

プリズム・ミュージック・ウェイブ 10 (7・9月)

'11 演劇フェスティバル in 八尾 (3月)

プリズム市民サポーター運営 (通年)

(3) 教育普及型事業

文化のまちづくり講座

・文化ボランティアコーディネーター養成講座 (4・5月)

・あんぱぱの楽(らく)ラシック (8~12月)

・ホールアプローチセミナー (調整中)

・芸術文化の課外授業 (10~11月)

吹奏楽クリニック (7月)

バンド・クリニック (8月)

楽しもう! 八尾(調整中)

光プラ・きっず・プラザ! (調整中)

芸術文化懇談会 (通年)

バックステージ・ツアー（大人向け、8月）
ちびっ子バックステージ・ツアー（子ども向け、8月）
プリズムの窓（調整中）
FMチャオ（通年）
病院ロビーコンサート（11月で調整中）

2. 名義主催事業等

(1) 名義主催事業

ウルトラマンレジェンドステージ in 八尾プリズムホール（6月）
演劇ワークショップ「A・SO・BO 塾 自分発見表現講座 in やお」(通年)
& 修了発表会（3月）

3. その他の事業

- (1) 職業体験受け入れ
- (2) 社会見学誘致
- (3) ホームページによる情報発信
- (4) 後援・協賛承認
- (5) 事業評価制度の実施（鑑賞型、市民参画型、教育普及型について）
- (6) プリズムクラブ運営
- (7) 市民文化活動ボードの活用
- (8) ポスター・看板設置・パブリシティ活用
- (9) 市内作家の河内木綿グッズ、絵葉書販売
- (10) 経営品質向上プログラムへの取り組み
- (11) 「公共サービス窓口における配慮マニュアル」に基づく接遇研修
- (12) 催物・広告宣伝物等の企画制作の受託
- (13) 会議資料作成サービス
- (14) ニーズに応える各種改修事業

八尾市生涯学習センター事業計画

生涯学習は、一人ひとりの自発的な意思による、主体的な活動が基本であり、学習の機会は、平等に提供されるものでなければなりません。

生涯学習センターでは、引続き、学習のきっかけ作りの講座をはじめ、各種の事業を実施してきましたが、新たな事業の展開にも努めていきたいと考えています。

各種事業については以下のとおりです。

生涯学習講座事業について

- 1．年間講座 29講座以上
創造性の育成と自主活動の促進、講師、受講生との交流の場となる講座の開催。
趣味・教養講座（成人向け）
華道（池坊・寧楽末生）、陶芸、かな書道、写真、舞民踊、水彩画、
水彩画・アクリル・クレパス画、茶道（表千家・裏千家）、刺しゅうパッチワーク、
水墨画・墨彩画、民謡、手編み、詩吟、俳画、俳句、料理教室
青少年講座（こども向け）
こども茶道、こども硬筆講座
- 2．半期講座 7講座以上
より取り組みやすいように半年間のコースとして開催。
漢字書道、実用書道、硬筆入門、中国語会話入門、フラワーデザイン、
リズムでスイング英語の歌、季節の和紙折り紙
- 3．パソコン講座 30講座以上
限られた人だけでなく、楽しく、だれでもが使えるよう、基礎から応用、デジカメの活用までパソコンへのニーズに対応していくための講座の開催。
ワード・エクセル、インターネット、デジカメ、ホームページ、年賀状、
シニア対象、ITアドバイザーによるパソコン相談室等
- 4．中期・短期講座 40講座以上
幅広い層が参加しやすい短期間に設定し、社会的に注目度の高い内容に応える講座や、身近で日常生活に結びつくような講座等の開催。
ギター講座、ウクレレ講座、そば打ち、フラダンス講座、ヨガ講座、
旅行英会話等
- 5．こども講座・おやこ講座 35講座以上
「居場所」づくりから、世代間の交流からの学び、共に造り体験し、時間を過ごすことにより、親と子の対話、交流、ふれあいの場の提供となる講座の開催。
ベビービクス、親子でリトミック、親子でえいご、のびのびえいご、キッズヨガ、
こま廻し、けん玉、パソコンに挑戦等の親子で楽しめる講座、
工作・科学等の体験型、伝統文化等の学習や実用的な講座等

生涯学習情報システムの運営

ホームページ、施設予約システム、情報誌「生涯学習の本ね」の発行等、情報提供。情報プラザ、図書コーナーの活用の検討。

自主活動の支援・育成

市民の自主活動を推進するため、場の提供、組織運営のサポートを実施する。現在、かがやきを拠点に活動を行っている組織は、次のとおり。

利用登録団体「フレンドシップかがやき」

NPO法人かがやきSITA

八尾市文化連盟

協働事業

自らの活動・成果を確認し、同時に他団体、個人の活動・成果から新たな視点や活動へ広がる市民文化の育成のため、市民の自主活動組織や、市、市教育委員会とともに開催する。

又、新しく何かを学びたいと考えている人に、生涯学習に触れられる機会とする。